

今回は、11人の議員がそれぞれの想いで挑みました!!



質問

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取りますと
議会本会議での一般質問の動画を観ることが出来ます。
また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



葉山町議会



問 教職員の働き方改革に有用な校務支援システムや、給食費公会計化の取り組み状況は。
部長 校務支援システムは11月6日公告、12月2日開札予定。令和3年4月からの本格運用に向け、教職員の研修を並行して進めている。公会計化はコロナの影響で、学校給食会や金融機関との協議・調整が十分取れていないので、令和4年度に何とか着手したい。
問 タブレット端末を活用した授業の状況は。
部長 教職員のスキルアップがまずは重要だ。ワーキンググループを立ち上げ、使用方法や授業での活用の研修を、現在は実施している。

教育部長 教職員の研修を実施中

タブレット端末を
活用した授業の状況は

待寺真司



問 災害時避難行動要支援者の個別計画策定が義務付けられたが大変難しい。個人の状況把握が重要で、要介護者等ではケアマネージャーが状況を把握している。ケアマネージャーの費用負担等をし、早急に個別計画策定を。
部長 ケアプランに、具体的にどこに誰が避難させるのかをプラスするのが一番近道と、福祉部と連携し、早急に個別計画を考えたい。
問 コミュニティスクールへの取り組みは。
教育長 令和元年度にあり方検討会議を設置し協議を進め、順次導入を目指している。
問 コミュニティスクールの役割として、教

総務部長 ケアプランに、具体的に プラスするのが一番近道と考える

ケアマネージャーの
費用を負担し
災害時の個別計画策定を

窪田美樹



町長・教育委員会部局とのガチンコ勝負!!

町政を問う



一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。1人あたりの持ち時間は答弁を含め60分です。

掲載している内容は、質問者自身が原稿作成をし広報常任委員会が編集校正したものです。全文は、議会ホームページのほか、議会事務局でもご覧頂けます。

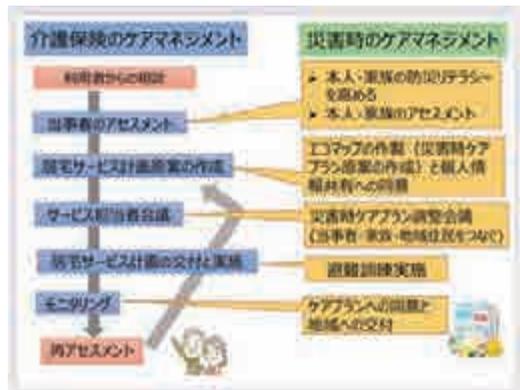
一般



タブレットを使っている様子

問 デジタル教科書導入に向けた取り組みは。
部長 指導書を購入する段階で、具体案はない。
問 新規に臨床心理士を相談員として配置しているが、相談内容の傾向や件数の状況は。
部長 ヤシの実教室を拠点として学校を回る体制で、比較的例年通りの相談内容・件数だが、保護者から親子関係の相談が増えている。
問 再度ヤングケアラーへ対応を切望するが。
教育長 不登校の子が実質的担っている事例も多い。件数や質的にも深刻化し、低年齢化も危惧される。重々気をつけて目配りする。
問 災害時要援護者や町内会長のマイタイムラインは非常に重要だ。策定支援など対応は。
部長 要介護者や障害者など災害弱者の方は、平時からどこに避難するか、誰が支援するかを想定するため、マイタイムラインの策定は有効だ。福祉部局と連携して進めていきたい。
その他の質問 生ごみ資源化施設の進捗状況
※家族の介護を担う18才未満の子ども

職員の任用に関して意見を述べる事ができるとあるが、人事に関与するという事か。
教育長 個人ではなく、学校全体の方針に関する意見であり、そのように定めていく。
問 小中一貫教育を経て、将来、小中一貫校となるのか。メリットデメリットがあり町民の声を聞きながら進めてもらいたい。
教育長 令和2年9月、葉山中学校区に小中連携推進連絡会を設置し、段階を経て、小中一貫教育制度の構築を位置づけていきたい。中学校区を単位に、大きく2つの小中一貫校をつくるという方向で進みたい。
問 状況によっては中学校給食だけでも進めるということだが、方式は限られている。愛川町の親子方式を視察したということだが。
教育長 温かい給食の重要性を感じたが、子どもの減少による調理室の余裕面積にも違いがあり、一定の拡張が必要で難しいと感じた。



兵庫県丹波篠山市の取り組み

福祉文化会館の
空きスペースを部活動や
町民利用に活かせないか

伊藤航平



教育部長
不可能ではない

公共施設利用促進

問 福祉文化会館の空きスペースを小・中学校の部活動など、活動場所が確保しにくい部に貸し出しては。

部長 不可能ではないが、種目などいろいろあり学校と話をしたことがない。

問 福祉文化会館のデイサービスの入浴施設を改修して、町営の銭湯を始めたかどうか。

部長 複合施設であり、営業の実施は難しい。

問 庁舎食堂を町民活動の拠点として活用でき、商品開発や情報発信の場にできないか。

部長 検討する価値はある。

特殊勤務手当の対応は

鈴木道子



総務部長
特殊勤務手当は議論中だ

問 新型コロナウイルス感染症の特殊勤務手当について伺う。現在、町は日額500円だが消防庁・総務省からの通知が来ているはずだが、町の対応はどうか。他の自治体は条例改正をした。遡及適用もすべきだ。また、プレミアム商品券など経済支援策は。

部長 金額等、条例制定に向けて消防と総務部の間で議論し、遡及適用も考えている。プレミアム商品券は実施の方向で検討している。

問 子宮頸がんワクチン接種について、10月9日に厚労省の通知がきて、リーフレットなどを対象者へ個別に送付し、対象者などがで

コロナ禍を機に、
相談窓口の設置を

中村和雄



町長
町社協など関係機関と
議論を交わしていきたい

コロナ禍の町民対応

問 葉山町に、生活保護を受けている人は、どのくらいいるか。

部長 令和2年8月現在、108世帯131人だ。

問 わが国では、国民の6人に1人が相対的貧困と言われている。葉山町の生活保護率は県平均の4分の1なので、この比率を使って推計すると、葉山町に1千人を超える相対的貧困の町民がいる計算になるがこの数字をどう思うか。

部長 一般論に当てはめてではあるが、1千人を超えるとなると、やはり多いと思う。

問 食堂をもう少しオシャレな空間に改修して、来庁者に「葉山町らしいですね」と思ってもらえる場にできないか。

部長 厚生会に貸し出している。委託業者と厚生会・町で可能性を考える。

問 公共施設を積極的に貸し出す発信をすることで、個人や民間が自らイベントを企画運営して、町の元気につながると思うが。

町長 セキュリティーの問題や、時間外で人件費が掛かると採算が合わない。協力できることはする。声があれば検討する。

入札制度

問 公共事業の積算根拠と最低額の決定方法と、町内業者への発注は。

部長 町は市場価格がわからない。県標準単価で設計。それ以外は複数者見積もりを取っている。最低価格は変動型を採用。地元業者が参入できるように、対応を図る。



庁舎食堂

きる限り漏れなく情報に接する事ができるようにとあったが対応はどうしたのか。

部長 ホームページに掲載し、個別通知で配布している予防接種一覧表にも記載している。前回の質問を受けて接種時期についての注意を付記し、周知への配慮をした。令和3年度の対象者には工夫し、通知等の対応を検討していく。

問 インフルエンザ予防接種補助について、逗子市では1回1500円の補助がある。葉山町でも実施すべきだがどうか。

部長 早急な結論はだしがたい。

問 学校の水泳授業の改善をすべきだが。

部長 民間プール利用も視野に入れ検討する。
その他の質問 新生児特別給付金など子育て世代応援・学校教育・中学校定期テストの現状と改革について



葉山町消防署

問 生活困窮者自立支援制度が想定している町民から相談があった時、町は鎌倉保健福祉事務所や町・県社協を紹介して一件落着か。

部長 庁内各課、町社協・県社協と情報共有をしている。

問 コロナ禍を機に、県社協まかせでなく、町として相談窓口の設置をすべきと思うが。

30年後、50年後のまちづくり

問 産業のない葉山にとって、人口の維持こそが大事だと思うが。町の将来像は、景観中心・抽象的だ。具体的なまちづくりの方向を。

町長 人口が減少しても、今住んでいる方が十分な町民生活を送れる環境を維持することも大事。財政運営を厳しくし葉山町としての最低限の力をため、将来に備えている。



生活困窮者自立支援制度の県社協リーフレット

体育館建設に
向けての考えは

近藤昇一



町長
総合計画に検討すると書いた

問 体育館建設に向けたスポーツ施設整備計画策定の考えは。

部長 教育委員会として単独での考えはない。町の公共施設計画の中で考える。

町長 4年の総合計画基本計画期間に建設できない。スポーツ施設を検討すると書いた。

問 4年間で整備計画も作れないのか。

町長 新たな施設を作る敷地や財力に厳しいものがある。施設がないわけではない。港も体育館もある。それらを活用していく。

問 国のスポーツ推進計画ではユニバーサルデザイン化として障がい者のスポーツ実施率

南郷中学校の
駐輪場の在り方は

荒井直彦



参事
南郷活性化事業の
再整備の時に考える

南郷中学校の駐輪場問題

問 南郷中学校が開校して40年余り、現在の駐輪場の場所は、歩道橋から400mあり、自転車に乗らず、急な坂道を押しながらのぼる。子どもたちが言えない言葉。子どもたちが苦

勞している姿。大人が対応しなければならぬ。あの場所にある必要はあるのか。問題意識をもって取り組みしては。コスモ石油の裏側に新しく新設してみても。

参事 その場所は、町道として認定している場所であり、ハマステーションの駐車場不足とか、渋滞解消のいろんな意味で、将来的

御用邸つながりで
下田市・那須町との
友好都市は

土佐洋子



町長
友好都市として
ふさわしいか検討する

問 防災面での相互応援対策の強化などを目的として、御用邸のつながりで下田市、那須町との友好都市について提案したいが。

町長 どのような形での交流や連携が友好都市としてふさわしいか検討する。

手話言語条例の制定

問 町長に手話言語条例制定の、要望書が提出されていることは認識しているか。

部長 提出され、町長が決裁している。

問 新規で新生児聴覚検査費用への助成が始まり評価する。手話言語条例制定の検討は。

町長 町独自の条例の必要性を検討したい。

の数値目標が載っているが葉山町の計画では触れていないが。

部長 成人という中で捉えている。

問 「スポーツ推進計画」では総合型地域スポーツクラブの設立が述べられているが、拠点がない中でのどのようなクラブとなるのか。

部長 2023年設立を目指し、学校のグラウンドや体育館・南郷公園を使った多種目の競技を提供する目的で検討している。

問 スポーツクラブも必要だが、既存の団体を圧迫するようなやり方は正しくないのでは。

部長 学校の体育施設の開放要綱の変更を検討しているが、既存の団体を圧迫しない。

問 まちづくり条例を見直すつもりはないか。

部長 条例の規則改正で対応できている。

問 改正すべきとの声もある。議員提案で見直しのための条例改正は可能か。

町長 可能だと思う。



真鶴町立体育館

に南郷活性化事業の中で再整備することになった時に考えられる候補地になると思う。

鳥獣対策の将来像

問 現状の体制と課題について何う。

部長 後継者の確保や捕獲技術の継承等をどのような形で行っていくかというのか課題だと思う。

問 前回の議会では、イノシシの解体加工施設、焼却炉の活用という話で、研究・調査に努めると、町長から発言があった。焼却炉に関して研究はどこまで進んでいるのか。

部長 いろいろと調査を行い、建設コストも500万円前後でできることも確認している。問題は設置場所であり、今後も国・県と相談しながらさまざまな方向性から、検討する。



南郷中の駐輪場と通学路

部長 2月に手話言語条例を考える行政担当者学習会があり、職員を派遣する。

問 手話言語条例策定にあたって、ぜひ当事者の方々の意見を聞いてほしい。

部長 日頃から情報交換をしている。さまざまな自治体での取り組みの情報収集を努める。

健康で生き生きと暮らしているまち

問 高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種助成対象者が拡大されたが、ワクチン不足で接種できない状態ではないのか。

町長 製造メーカーによる出荷調整で、出荷量が抑えられており、予約していても、受けられない人が生じている現状だ。年度内としている助成券の有効期間を延長することも見据えた対応への検討が必要となっている。

問 集団健診等も受診できないのでは。

町長 追加実施を予定し、受診できない人が生じる場合には、予備日2回分で対応する。

那須町
ビジターセンターより



下田市「広報しもだ」より

葉山をどのような町にしたいのか

金崎ひさ



町長
変化の中で葉山町を守っていききたい

問 町長の描くまちづくりとは。

町長 開発等で町民の思いを形にし、住んでいて良かったと思っていたり、住んで後出しジャンケンには許さないと、強い姿勢を持って、今住んでいる人が快適に暮らせるよう、町を守って欲しいと思うが、強く出るのは大事と思っている。

令和3年度の事業展開

問 公園を用途別に整理すべきではないか。

部長 若手職員により検討を進めている。

問 公園整備に対する町民の要望は。

部長 スケートボードや自転車競技がある。

公共施設の換気体制は

山田由美



総務部長
基本は空調による

公共施設の換気

問 新型コロナのクラスターが発生しないよう、公共施設での換気が重要だ。不特定多数が入り出す施設での換気体制は。

部長 基本は機械換気で、空調による。役場と図書館では午前と午後1回ずつ、窓開け換気を行う。備品消毒も各課で実施。

問 役場の正面入口と、2階入口を常時開放することは不可能か。

部長 温度、湿度の管理が困難になる。

ローリングストックの勧め

問 災害時は、自宅でのローリングストック

コロナによる中長期的影響を
考えるべき

飯山直樹



政策財政部長
当初予算に計上した上で
補正減も考える

財政悪化による大規模事業への影響

問 各自治体では、リーマンショック時の減収をコロナによる減収の目安にしているが、これは単年度の収支の予測にすぎない。リーマンショックやバブル崩壊後、経済回復に10年程度かかっており、今回も相応の時間を要する。大規模事業は長期債務を負うことになることから、コロナによる財政悪化により、他自治体では中止・延期の動きになっている。令和3年5月頃に判断せず、中期財政計画変更含め中長期的影響まで考えるべきでは。

部長 令和3年5、6月に課税状況が確定す



窓の外に新築の壁

問 ヨットスクール事業はヨット発祥の地としての展開のため、三者（運営母体・保護者・町）との話し合いが必要と思うが。

部長 年度末にも行う予定である。

問 投票所の改善策は。

選管 堀内いこいの家は図書館に変更予定。旧役場跡地は一色小学校に検討していく。

問 中学校給食の方法決定に町民参加は。

部長 教育委員会内で決定するつもりだ。

問 コロナ禍による給食費補助の継続は。

部長 12月で一旦中止する。

問 資源物も全て戸別収集にしては。

部長 資源ステーションは継続していく。

問 休日収集をなくすことの検討は。

部長 職員が収集の強い意志を持っている。

問 資源化率アップを目指す町長の方針を変え、プラスチックの分別を止めては。

町長 目指してはいない。町民努力の結果だ。



窓開け換気や備品消毒をする職員

が重要だ。物資備蓄のキャンペーンは。

部長 広報やホームページでも知らせているが、引き続き周知を行っていく。

防災メール

問 防災無線が聞こえにくい状況があるため、防災メールの登録が重要だ。町内会や自治会の協力で推進してはどうか。

部長 現在は7400人超の登録がある。引き続き周知に取り組んでいく。

問 バスが不通になるなどの情報配信は。

部長 交通事業者との役割分担が課題だ。

学校での遠隔授業

問 今後のコロナの状況にもよるが、いつでも遠隔授業ができる体制が必要では。

部長 1人1台端末の整備が整えば、可能になる。臨時休校時に動画配信に携わった教員を中心に、ICT活用のワーキンググループを立ち上げ、研修を行っている。

るが、それ以降も3カ月単位でGDPの推移を見ながら、当初は政策的な経費も計上した上で、5、6月以降の税の調定によっては減額の補正や、執行を遅らせるなど対応し、さらに9月でまた補正減も考えている。

問 時間の経過とともにコロナの財政への影響が明らかになってきた。経常収支比率95%で経費削減にも取り組んできた。削れるところは残っていない中、どう対応する。

部長 税収だけ単体で捉えれば5〜6億円は減収する。その他、地方譲与税、各種交付金等についても億単位で下がると試算している。こうした状況下、今回の予算編成方針では各セクションに対しゼロベースでの見直しを依頼している。

その他の質問 ごみ処理広域化実施計画・海岸の利用について

(単位:百万円)

品目	H30	H31	H32	H33	H34
平校給食センター整備事業	71.0	520.6	987.0	381.0	
グリーンセンター再整備事業	31.2	31.3	288.1	492.3	199.6
治水経路施設維持管理事業			47.0	27.5	
合併処理浄化槽補助事業	32.2	71.4	82.1	85.3	76.5
計	135.4	623.5	1,402.2	966.1	276.1

大規模事業の財政推計（平成30年2月作成）抜粋